

月山志津温泉雪旅籠の灯り ～雪は宝～



山形県西川町
月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会

手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

山形県の内陸部と海沿いを結ぶ「六十里越街道」は、1200年前の古代から開かれ、内陸と庄内を結ぶ唯一の街道であり、山岳信仰の盛んだった室町・江戸時代には、湯殿山を目指す「お山詣り」と共に東北・関東各地から、ひと夏で3万人を超える行者（参詣者）で賑わったと伝えられています。



多くの人が訪れる雪旅籠

月山志津温泉がある志津地区は、内陸と庄内の接点に位置し、湯殿山行者の宿場と内陸側と庄内側から入ってくる品物の中継地として発達しました。現在は、13軒の温泉旅館・食堂が街道沿いに営業を行っており、月山の夏スキーや登山・トレッキングの観光客が大半をしめています。



雪旅籠内部の様子
(雪のアートやパネル展示等を実施)

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

月山志津温泉は、日本百名山の1つ「月山」の麓にある温泉街で、春から秋にかけて、スキーや登山、トレッキングで多くのお客様で賑わっていますが、冬場には、積雪量が6mにも及ぶ豪雪地帯のため、足を運んでくださる方が大変少ない状況です。そのような中でも足を運んでいただけるような取り組みとして、生活から排除するだけの雪を活用し、地元の人達にももっと冬を楽しめる様なイベントを開催

したいという想いから毎年実施しているものです。温泉旅館組合が中心となり、当時の六十里越街道の宿場の町並みを再現した雪旅籠の製作や広報、イベントの企画・運営を実施しています。町とつながりのある大学や、周辺地域の各種工事業者からボランティアとして協力いただき、雪旅籠（高さ8mに及ぶ）の土台を作製、最後にはすべて手作業で細かなデザインを施し完成させます。



雪旅籠製作状況



学生ボランティアによる雪旅籠製作状況



開催を記念した花火打ち上げによる
オープニングセレモニー

3 活動の成果や波及効果等

県内外から多くの参加者が訪れており、昨年度は13回目を迎え、5,700人の来場者がありました。大学からは、雪旅籠の安全性・デザイン性等の助言を受けつつ、製作にも学生ボランティアとして携わり、卒業後は友人・家族と訪れるなど、継続・発展したイベントに繋がっています。



雪と氷、有機ELを使用した幻想的な空間を演出



地元特産品を使用した料理や飲み物を提供

喜びの声



受賞者

月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会
実行委員長 志田 昭宏

コメント

この度は、我々にとって「宝」である雪が、大切な観光資源であり地域資源であることを多くの方々にご理解いただいたことを心から嬉しく思います。これからも、雪国の文化を伝えていながら「雪」を通じてたくさんの地域、人と繋がっていただけることを楽しみに活動していきます。

活動の内容

雪旅籠の灯り（イベント）の運営、六十里越街道の清掃活動など

活動の経緯

- 平成17年 実行委員会設立
- 平成21年 全国ふるさとイベント大賞
地域づくりのやまがた景観賞
- 平成24年 やまがたゆきみらい大賞

所在地

山形県西村山郡西川町大字志津5

活動主体及び連絡先

月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会
(0237-75-2033)

対象となる社会資本

六十里越街道（国道112号）
※管理者：山形県



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編